

町内会・自治会等ヒアリング（1回目）  
地域の資源・課題編 結果概要  
盛南地域

※主な意見等を抜粋しています。また、同種の内容はまとめて記載しています。

「問1」については、各町内会等が主に属する地域の【地域別構想】をご覧ください、平成21年度の見直し時から約10年が経過したことを踏まえ、記載されている内容について、この約10年間で感じる地域の課題や変化、意見等についてお聞きしました。

①『地域の好きなところ』について

- 所在地（大宮町内会）北東は盛南開発の恩恵で文化施設や体育施設、中央公園が近く市中心部へのアクセスにも恵まれ、未開発の地での歴史（大宮神社）を感じる住民の生活には満足感がある。
- イオンやマイヤ等の大型店舗が近くにあり生活に便利である。
- 建物等の高さを規制しているのがよい。
- 閑静な佇まいと地域から見える山なみや川などのすばらしい景観。
- その他（病院、クリニックの数が増加してきた）。上記以外、ほとんど傾向は変わらないと思う。
- 中央公園のトンネル南側の一角は接する県道や市道を通行中も芝と丘陵地形と岩手山の雄姿がとてもバランスよくセットされたすばらしいところに変身しました。今後の維持管理をよろしくお願いします。
- 当地域は市街化調整区域で農振地域のためこの10年間の変化は見られない。

②『地域の課題』について

- 農村（田園）との混住地では場整備事業も済み、周囲の農道も通勤や通学に利用度が高いことは住民の利便性に寄与していることがうかがえる。
- 必然ながら住居の密集している鬼柳、大柳での防災への課題が残る。
- 区画整理が30年前に終了している地域では、少子高齢化が進行している。
- 支所や公民館などの公共施設が不足している。
- 銀行、郵便局が移転したことにより高齢者には不便になった。
- 交通事故が多発している。信号機の増設をお願いしたい。
- バスの公共交通機関の便が悪い。
- 道路の整備状況が非常に悪い。市道が穴だらけ。
- 日常の買い物の便が悪い（スーパーがなくなったため高齢者が困っている）。
- 少子高齢化が進行している（空き家が増えている）。の2項目の比率が大きく増えていると思う。
- その他で農業後継者の不足、高齢者の夫婦または一人暮らしの増加。
- 盛南開発が完了し、都市機能が充実するとともに、縁辺部も含めて防犯対策（窃盗、空き巣狙い、違法販売等）が心配される昨今です。地域における防犯体制を充実させるとともに警察のパトロールをよろしくお願いします。
- これからは高齢者が多くなってきます。地域みんなで見守るにはどうしたらいいか。若い方々とのコミュニケーションの取り方が大変だと思います。
- 車道、歩道の草繁茂、きれいなところと草刈りしていないところの差がある。
- 買い物についても地域内には店もなく高齢者が不自由を受けている。
- この10年間で3件の空き家が発生しており、後継ぎがない状況となっている。

### ③『地域の資源・課題マップ』について

- 商業施設がない。⇒イオン、TSUTAYA等の施設ができて解消されている。
- バスの便が悪い⇒通勤、通学時のバスを見れば乗客が多く解消されている。
- 活気がない⇒道明、鶴子地区の区画整理が進み解消されつつある。
- 雫石川に面した北側の区域、スーパーがなくなり買い物の便が悪くなった。
- 二又公民館から内村公民館の道路が狭い。
- この10年間、地域としての変化はない。

### ④その他

- 農業地域（農振法）はできるかぎりそのまま保った方がよい。
- 商業施設を作ってもらいたい。
- 路線ごとの交通安全施設の格差（新規拡大路線は通行量のわりに信号機等の数が少ない）。
- 新旧住民間のコミュニケーションが難しい。
- 町内会役員等の若返りが困難。
- 広々とした田園風景が優れている地区の長期における確保には優先的な行政施策や指導が必要不可欠であり、これが都市部の景観を引き立てることにもつながることと思います。この田園風景が盛岡市都市部の地域力をバックアップするものと考えます。
- 小規模町内会では空き家発生により市街化調整区域のため一般住民がその空き家を利用して住むことがないのでますます町内会活動に影響が出ている。

「問2」については、まちづくり全般に関する意見についてお聞きしました。

- 緑の多さ、水の美しい田園に囲まれて心が清々しい住民の声。しかし、側面を越えてガードレールを飛び越える雑草の草刈りが市道でも申し入れに対応が遅く、また対応しないなど（道路管理課）問題が継続している。
- 災害（水害）が発生した場合、避難場所が少ない。現在は近くの学校のみ。
- モデル都市として電線等をはじめから地中化できなかったのか。
- 太田地区のまちづくりに関し「街の駅」的なものを作ってもらいたい。
- 交通体系の確立（道路整備が進むと、車の通行量が格段に増加する）、
- 交通事故の増加が懸念される。
- もし今後ごみ焼却施設が立地すれば生活環境の悪化や車の通行量の増大に伴う交通事故の増加が懸念される。
- 歴史的な魅力ある都市中心部が閑散となるドーナツ現象が顕著にならないよう盛岡は中心部が今後も多分野の中心基地だと思いますので高齢化社会の中で特別なご配慮をお願いします。
- 盛南開発によって大きな木がなくなり水の流れが変わり自然環境が変わってしまいました。盛南開発区域南側には田んぼや自然環境が少し残っています。ホタルの飛び交う風景を子どもたちに見せたいですね。
- 岩手山の眺望の確保。
- 全体でいう「まちづくり」に反対はないが、地域によってはいかに「集落維持」をするかが課題としてある。

町内会・自治会等ヒアリング（2回目）  
まちづくりの方向性と基本方針編 結果概要  
盛南地域

※主な意見等を抜粋しています。また、同種の内容はまとめて記載しています。

「問1」については、添付した地域の現状データや、1回目のヒアリングの結果概要及び各町内会等が主に属する地域の【地域別構想】を確認いただき、各項目への追加、修正点や今後の地域のまちづくりに関する意見等についてお聞きしました。

①『まちづくりの方向性』について

- 緑の多いまちづくり。街路ますの有効利用。
- ひとにやさしいまちづくり。道路整備と横断歩道の見直し。
- 盛南地域の資源の有効性を活かしつつ、課題に対処するという点において3本柱を基本方針とした方向性の考え方に大賛成である。
- 高齢者、特に車がない世帯にとってタクシー以外に移動手段がなく住みにくいまちになる可能性があり何か対策が必要となる時期が間近になっていると感じます。

②『まちづくりの目標』について

- 目標については「ゆとりとうるおい」のあるまちづくりは願ってもない目標であり、ぜひインクルーシブなまちづくりの実現に向けて取り組んでほしい。
- 住民の考えのなかにはないがあくまでも市の構想として「多様で価値の高い副都心の創造」を目指して新しいまちづくりをすすめることは、従来から示されているものであり適切であると思う。
- まちづくりの目標が達成するか否かはもはや箱もの、道路、川等よりも面的なまちの魅力を洗いざらい検証し続ける官民一体となった魅力づくりにポイントを置くことが大切です。

③『まちづくりの基本方針』について

- 中央資本のフランチャイズ店舗が多く、味も応対もマニュアル通りで味気なく、個性的・特色のある店舗が少ない。地域性に特化した商業圏が望まれる。
- 課題が多く寄せられているが解決に向けた具体的な目標となる文言が見当たらない。
- 単に文教都市イメージにとどまらず活力ある豊かな社会づくりを目指して発展する第都市像を構想することは重要で、地域ごとの目指す機能の分担を行って地域が受け入れ可能な特色ある目標設定を行うことができればまちづくりの方針としてふさわしいものになると思う。

④『まちづくりの方針マップ』について

- 中央公園を中核としただれでも憩えるコミュニティの場の設置が望まれる。
- 新産業用地整備や盛岡市給食センターの新設の扱いを明記したほうがいいのでは。
- 白鳥の飛来箇所は現表現と違っている。太田橋の上流とJR雫石川鉄橋から明治橋間です。
- 特に、政官界初の完成直後はだれがみても清潔感あふれる都市環境が際立っておりました。年々この良環境が損なわれない維持管理の向上化が必要です。

「問2」については、広く今後のまちづくりについて検討する必要があると感じることについてお聞きしました。

- 道路整備計画の変更に合わせて別案としての計画を早期に実行してほしい。
- 災害が発生した場合、避難場所が少なく近くの学校のみ。
- もし今後ごみ焼却施設が立地すれば生活環境の悪化や交通事故の増加が懸念される。